

情シス担当が押さえておきたい ネットワーク構築の全体像



目次

- | | | | |
|---|--------------------------|----|-------------------------|
| 1 | このようなお悩みはございませんか？ | 7 | STEP3 構築・導入時のポイント |
| 2 | ネットワーク構築を考える上での前提条件 | 8 | STEP4 運用・管理方法を事前に整理する |
| 3 | なぜ今、ネットワークを見直す必要があるのか | 9 | ネットワーク構築・見直しのポイントまとめ |
| 4 | ネットワーク構築の全体像（進め方の流れ） | 10 | 外部支援やベンダーを上手に活用するための考え方 |
| 5 | STEP1 現状のネットワーク構成を把握する | 11 | 当社が支援できること |
| 6 | STEP2 設計方針を検討する | 12 | 会社概要 |

1 このようなお悩みはございませんか？

クラウドサービスやリモートワークの普及により、
企業のネットワーク環境はこの数年で大きく変化しました。

その場その場で必要な対応を重ねてきた結果、
いつの間にか「全体像が見えにくいネットワーク環境」になってしまっている
ケースも少なくありません。

日々の業務に追われる中で、
「このまま今の形を続けてよいのか」と漠然とした不安を感じている方も
多いのではないのでしょうか。

本資料では、これからの時代に求められる**ネットワーク設計・運用の考え方**を、
分かりやすく解説します。



2 ネットワーク構築を考える上での前提条件

企業のネットワーク構築を考える上で、まず押さえておきたいのが「前提条件の変化」です。

これまでのネットワークは、

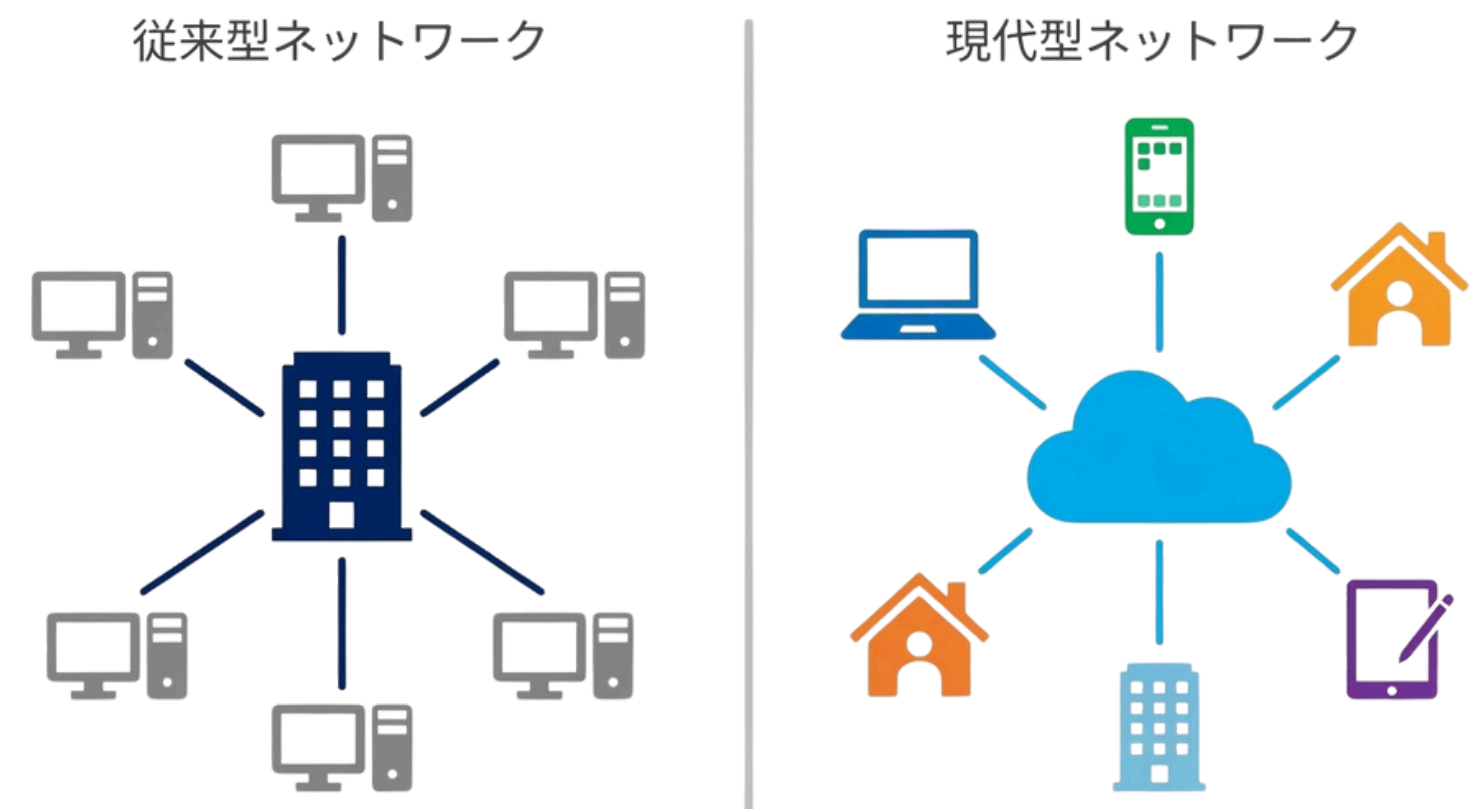
「社内にある機器を、社内から使う」ことを前提に設計されてきました。

しかし現在では、業務システムのクラウド化や在宅勤務・多拠点化が進み、ネットワークの利用シーンは大きく広がっています。

その結果、「**社内外をまたいだ通信**」

「**拠点ごとに異なる接続環境**」

「**利用するサービスや端末の増加**」などを
考慮したネットワーク構成が求められるようになりました。

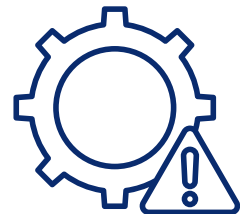


3 なぜ今、ネットワークを見直す必要があるのか

前ページでご紹介したように、ネットワークを取り巻く前提条件は大きく変化しています。
こうした変化を十分に整理しないまま、従来と同じ考え方でネットワークを構築・拡張してしまうと、
結果として、後から見直しが必要になる場合があります。



拠点追加や人員増加のたびに個別対応が発生する



構成が複雑になり、全体像を把握しにくくなる



運用や管理の負荷が特定の担当者に集中する

ネットワーク構築や見直しを行う際には、
まず全体像を整理し、将来の利用シーンも見据えた設計を行うことが重要です。

4 ネットワーク構築の全体像（進め方の流れ）

ネットワークの構築や見直しを行う際には、いきなり機器選定や設定作業から始めるのではなく、全体の流れを把握した上で進めることが重要です。一般的には、次のような手順で検討を進めていきます。



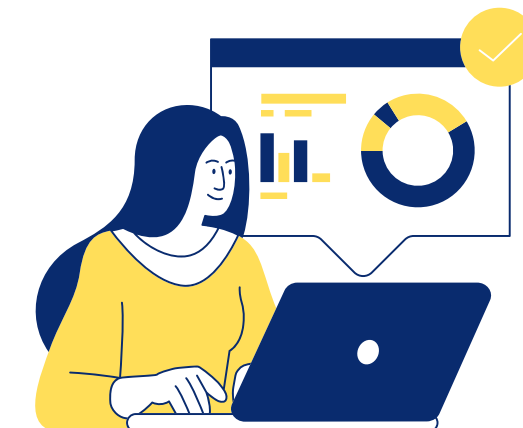
現状のネットワーク構成を把握する



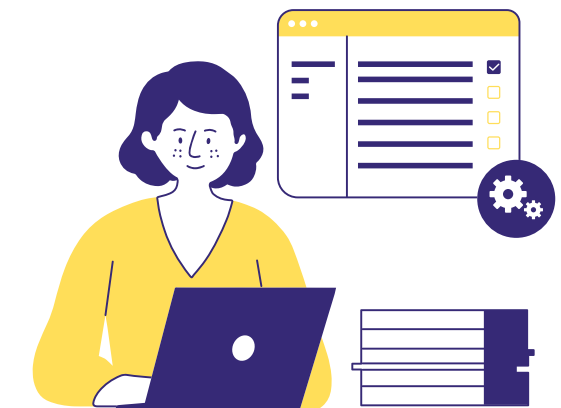
設計方針を検討する



構築・導入時のポイント



運用・管理方法を事前に整理する



5 STEP1 | 現状のネットワーク構成を把握する

ネットワーク構築や見直しを進めるにあたり、最初に行うべきことは、現在のネットワーク構成を正しく把握することです。現状が曖昧なまま設計や構築を進めてしまうと、想定外の手戻りや、不要な構成変更が発生する可能性があります。まずは、以下のような項目を中心に、現在のネットワーク環境を整理してみましょう。

	現状把握のチェック項目
	拠点数・フロア構成
	接続している端末の種類・台数 (PC、プリンター、スマートフォンなど)
	ネットワーク機器の構成 (ルーター、スイッチ、無線アクセスポイントなど)
	インターネット回線の種類・冗長構成の有無
	クラウドサービスや社外サービスとの接続有無
	リモートアクセスの利用状況



**現状把握は「完璧」を目指さなくて問題ありません。
今の状態を整理すること自体が、次の設計ステップへの第一歩になります。**

6 STEP2 | 設計方針を検討する

現状のネットワーク構成を把握できたら、次に行うのが設計方針の検討です。

設計と聞くと難しく感じるかもしれませんが、

この段階で重要なのは、細かな機器仕様を決めることではありません。

「どのような使い方を想定するのか」「将来的にどのような変化が考えられるのか」といった視点で、ネットワーク全体の方向性を整理することが目的です。

	設計方針検討のチェック項目
	社内・社外からの利用シーン
	拠点や利用者が増えた場合の対応
	クラウドサービス利用を前提とした接続構成
	障害発生時の影響範囲
	運用・管理を誰がどこまで担うか



最初から完璧な設計を目指す必要はありません。将来の拡張や変更がしやすいよう、できるだけシンプルな構成を意識することが、結果的に運用負荷の軽減につながります。

7 STEP3 | 構築・導入時のポイント

設計方針が整理できたら、次はネットワークの構築・導入フェーズに進みます。

このステップでは、ルーターやスイッチ、無線アクセスポイントなどの機器設定や、回線の手配・切り替え作業を行います。作業そのものはベンダーや外部業者に依頼する場合でも、情シス担当者として「何を目的に、どのような構成にしているのか」を把握しておくことが重要です。

	構築・導入時のチェック項目
	設計内容と構成がずれていないか
	業務影響を最小限にするスケジュールになっているか
	切り替え時の影響範囲を把握できているか
	トラブル発生時の連絡先・対応方法が決まっているか
	構成図や設定情報が記録されているか



導入作業は一時的な対応になりがちですが、このタイミングで構成情報や設定内容を整理しておくことで、その後の運用・管理が格段に楽になります。

8 STEP4 | 運用・管理方法を事前に整理する

ネットワークは、構築や導入が完了して終わりではありません。
むしろ、日々の運用や管理をどのように行うかによって、使いやすさや安定性が大きく変わってきます。
障害やトラブルは、いつ・どのタイミングで発生するか分かりません。
その際に慌てず対応できるよう、あらかじめ運用・管理の方法を整理しておくことが重要です。

	運用・管理時の主な検討項目
	障害発生時の対応フロー
	問い合わせ・一次対応の窓口
	構成情報・設定内容の管理方法
	定期的な見直しや点検の実施
	担当者変更時の引き継ぎ方法



マニュアル化や情報共有を行い、属人化しない体制を整えることで、
長期的に安定した運用が可能になります。

ここまで、ネットワーク構築・見直しを進めるための基本的な手順と考え方をご紹介してきました。
最後に、各ステップを通して特に意識しておきたいポイントを整理します。



STEP1 | 現状把握

現在の構成や利用状況を把握する
分かる範囲から整理し、全体像を可視化する



STEP3 | 構築・導入

設計方針に沿って構築できているか確認する
構成情報や設定内容を記録しておく



STEP2 | 設計方針

利用シーンと将来の変化を想定する
シンプルで拡張しやすい構成を意識する



STEP4 | 運用・管理

障害時の対応フローを明確にする
属人化しない運用体制を整える

ネットワーク構築や見直しは、一度にすべてを完璧に行う必要はありません。
現状を把握し、できるところから段階的に進めることで、無理なく整理していくことがポイントです。

10 外部支援やベンダーを上手に活用するための考え方

ここまで、ネットワーク構築・見直しの考え方や手順についてご紹介してきました。
これらを理解した上で、すべての作業を自社で抱え込む必要はありません。

構成や考え方を把握していれば、
日々の運用や管理は外部の支援を活用しながら、無理なく進めていくことも可能です。

「何を任せているのか分からない状態」ではなく
「理解した上で任せている状態」をつくることが、
担当者の負担軽減と、安定した運用につながります。



11 当社が支援できること

ネットワーク構築・運用に関する考え方や手順を整理した上で、
日々の運用や管理を任せたいと感じた場合、信頼できる支援サービスを選ぶことが重要になります。

当社が提供する **BM X（ビーエムクロス）** は、ネットワークの運用負荷の軽減と、
全体像の可視化・運用サポートを両立するネットワーク管理サービスです。

**BM X は、運用負荷を軽減しながら、必要な機能を選択・組み合わせで提供することで、
シンプルで最適なネットワーク環境を実現します。
社内にネットワーク専任者がいなくても、当社の運用チームがしっかりとサポートします。**

詳しくはこちら ▶



商号	B C C 株式会社
事業所	東京本社：東京都千代田区外神田6-15-9 明治安田生命末広町ビル9F 大阪本社：大阪府大阪市中心区今橋2丁目5番8号 トレードピア淀屋橋ビル9F
創立	2002年3月
代表取締役社長	伊藤一彦
カンパニー名	IT営業アウトソーシングカンパニー
カンパニー長	松村健太
主要部門	・ 営業アウトソーシング ・ ソリューション
許認可	一般労働者派遣事業（派27-302361） 有料職業紹介事業（27-ユ-302045） プライバシーマーク認定（第10861424(07)号） 電気通信事業（E-28-03972）
主要取引先	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ) 日鉄ソリューションズ株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 日本電気株式会社(NEC) 富士ソフト株式会社